

薬剤試験研究室

試験室の主な臨床業務は薬物治療モニタリング(TDM)である。TDMを通じて、患者の薬物治療への貢献と薬剤指導業務の支援を行うことを目標とし、薬物血中濃度測定と体内動態の解析を中心に業務を行っている。TDMの対象となる薬剤には、免疫抑制剤、抗てんかん薬、不整脈治療薬、抗生物質などがあり、主にバンコマイシン、バルプロ酸、カルバマゼピン、ジゴキシン、リチウムなどを対象に血中濃度に基づく投与設計を行っている。

大学院生や医学部、薬学部実習生、薬剤師研修生に対する薬物動態学、TDMや研究指導等の教育活動も行っている。部内では毎月定例の研究セミナーを開催し、薬剤部で実施される臨床研究や学会・論文発表等へのアドバイスも行っている。

2018年10月より、Jose Carlos S. Tayag氏(フィリピン、医師)を研究生として受け入れた。



Jose Carlos S. Tayag 氏

試験室研究部門の業務

- 1) 薬物治療支援として、薬物の血中濃度を測定し、その薬物の動態を考察してその治療効果などの評価を含めた投与設計を提供している。
- 2) i-densy等の機器を使用しSNPs測定を行い、薬物代謝酵素や薬物トランスポーターの遺伝子多型に関する研究を行っている。



i-densy および サーマルサイクラー

- 3) 中毒、副作用や調剤過誤が疑われた薬物の定性・定量試験などを行っている。

- 4) 2台の LC/MS/MS と1台の HPLC を所有しており、ミコフェノール酸モフェチル、コルヒチン、ワルファリン、オメプラゾールなどの薬物動態や相互作用に関する研究を行い、医学部各講座との共同研究も行っている。



LC-MS/MS システム



<HPLC システム>

- 5) 試験研究室員および中村教授にて学内・学外講師を担当し、医学・助産学教育にも携わっている。

2018 年度 教育業績

名桜大学 助産学専攻科 ー薬理・栄養ー

非常勤講師 中村 克徳 2018 年 4 月 19 日

伊差川サヤカ 2018 年 5 月 10 日, 5 月 17 日

潮平 英郎 2018 年 6 月 8 日

琉球大学医学部医科学研究 2 名: 井東虎太郎、江口真理奈 (医学部 3 年生)
2018 年 12 月～2019 年 2 月

琉球大学医学部体験授業 2 名: 普天間高校 1 名, 首里高校 1 名
2018 年 8 月 6 日～10 日